

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【道 徳】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、教材 3 つをユニット化して、「いじめのない世界へ」「いのちを考える」というまとまりを作り、全学年同じ時期に配置することで、指導に最適な時期に重点的な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、見開きでのポスターやグラフ等を用いたビジュアル教材で想像を広げ、読むことが苦手な生徒からも異なる立場や視点から多様な考えを引き出すような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳科の授業はこんな時間に」を設けることで、考え、議論する道徳を実現するための学習の流れが分かるように工夫がなされている。また、巻末の「心情円」を使用することで、すべての生徒が自分の気持ちや考えを簡単に表現でき、自己表現や話し合いが苦手な生徒も授業に参加しやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、祭りや和食などの日本の伝統的な行事や文化を教材として扱い、「見つめよう」「ぐっと深める」で自分の考えを深め、発展させるような工夫が見られる。</p>	<p>2 年 目次</p> <p>2 年 P50, P51</p> <p>2 年 P190 P191 P 4, P 5 巻末 2 年 P65</p>
17 教育出版	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、いじめ問題、共生や持続可能な社会の在り方、生命の尊さのテーマで、複数の教材とコラムを組み合わせ、重層的にユニット化し、深い学びができるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、様々な立場に立って考えたことを教科書に書き込んで整理し、他者の考えと比べる言語活動により、問題の本質に迫るような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性については、巻頭に「さあ、道徳を始めよう！」を設け、話し合いを深めるためのポイントがつかめるような工夫がなされている。また、巻末の「よりよく生きる」ことについて、1 年間の学習の集大成として表現する活動を取り入れることで、これまでの成長を実感し、これからの生き方について考えられるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、郷土の祭りを教材として扱い、「学びの道しるべ」で、自分たちの地域を振り返るような発問を設け、教材の内容だけで終結せず、郷土に目を向け考えていけるような工夫が見られる。</p>	<p>2 年 目次</p> <p>2 年 P70, P71</p> <p>2 年 P 4, 5 巻末</p> <p>2 年 P153</p>

38 光村図書 出版	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、9つのテーマでゆるやかに全教材をユニット化し、異なる内容項目からテーマにアプローチすることで、道徳的価値について考えを深め、多様な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「見方を変えて」では「考えよう」の発問とは切り口を変えた問いや呼びかけ、「つなげよう」では更に深めさせたいテーマを提示するような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳の学習を始めよう」を設け、3つのポイントを示し、道徳科を学ぶ心構えを意識することができるような工夫がなされている。また、最終教材「一年間の学びを振り返ろう」では、これまでの学びを振り返り、心の成長に気づくとともに、これからの生き方について考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、生徒の発達の段階に即した中学生視点の教材を用いて地域を振り返るとともに、「つなげよう」で関連する教材を示し、発展的に考えを深めるような工夫が見られる。</p>	<p>2年 目次</p> <p>2年 P14</p> <p>2年 P6, P7 P170 P171</p> <p>2年 P111</p>
116 日本文教 出版	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、多様性の尊重とSDGsに関わるテーマを教材ごとに設定し、一部を同じテーマでユニット化して年間で複数配置することで、現代的課題についての考えが深められるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「学びを深めよう」では問題解決的な学習や体験的な学習の流れと資料を提示し、生徒が話し合い活動や役割演技を通して道徳的価値にせまるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳科での学びを始めよう！」や「ミニ教材で考えてみよう」を設けることで、学びの見通しがもてるような工夫がなされている。また、別冊「道徳ノート」を併用することで、生徒自身が考えを記録し積み上げ、振り返ることで成長を実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、地域活動のよさを扱う教材では、「自分にプラスワン」で発展的に考えさせる視点を示すとともに、コラム「視野を広げて」では、地域ごとの違いを比較しながら考えることができるような工夫が見られる。</p>	<p>2年 目次</p> <p>2年 P37 P68, P69</p> <p>2年 P4, P5, P6 別冊道徳ノート</p> <p>2年 P63, P178</p>
224 Gakken	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、最重点テーマ「いのち」に関わる教材と「SDGs」「多様性」「キャリア」の3つのテーマのユニット学習を関連させることで、自他の命について広い視野で考えを深められるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「クローズアップ」では教材の内容項目に即した資料や異なる立場からの多様な意見及び関連情報などを扱い、教材を軸に考えさせるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性については、巻頭「道徳科で学ぶこと 考えること」の中で、多様な学び方や思考ツールの使い方、ICTの活用の方法を設けおり、関連する資料を自分で調べたり、考えを整理したりすることで、生徒が自ら関心を持って道徳の学びに向き合うための工夫が見られる。</p> <p>(4) 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、若い人たちが伝統を継承し、新しい文化を創造する取組を教材として扱い、郷土に目を向け、郷土のために自分ができることは何かを主体的に考えることができるような工夫が見られる。</p>	<p>2年 目次</p> <p>2年 P142 P172</p> <p>2年 P8</p> <p>2年 P138</p>

232 あかつき 教育図書	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、重要なテーマについては教材を連続させてユニット化し、各学年でユニット数やユニット内の教材数を変えることで、発達段階に応じた学びを深められるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「マイ・プラス」では、役割演技や話し合いなどを取り入れて、生徒がいろいろな立場で想像したり考えたりできるような問いを設定するような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性については、第1教材「道徳 はじまりの時間」を設け、どのようなことをテーマに考え、深めていくのかが分かるような工夫がなされている。また、巻末にワークシート「学習の記録」を設けることで、学期ごと及び1年間の学習の振り返りができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、個性豊かな伝統行事に関する教材や、地域ぐるみの活動を紹介するコラムを用いることで、郷土の伝統を受け継ぎ、発展させていくことの意義を考えることができるような工夫が見られる。</p>	<p>2年 目次</p> <p>2年 P46, P47</p> <p>2年 P6, P7, P8, P9, P10, P11 巻末</p> <p>2年 P52, P172</p>
233 日本教科 書	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、教材を学習指導要領の内容項目に沿って視点別内容項目順に配列し、教科書の順番に縛られることなく、各学校の年間指導計画に基づいたカリキュラム編成がしやすいような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、生徒一人一人に「よりよい自分」を探究させるためのウェルビーイングカードを活用し、それぞれの考えや思いを伝え合うことができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳授業」を設けることで、前学年の振り返りと1年間の目標や課題について考えられるような工夫がなされている。また、巻末の「ウェルビーイングカード」を活用することで、授業において自分の意見をもとに、対話しやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(4) 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛し、進んで地域の発展に貢献しようとする実践意欲と態度を身に付けさせるために、伝統を扱った教材において、動画等の補助教材や、継続して考えていけるような問いかけをすることで、発展的に自分たちの地域の伝統・文化について考えることができるような工夫が見られる。</p>	<p>2年 目次</p> <p>2年 P6, P160</p> <p>2年 P4, P5, P6</p> <p>2年 P119</p>